

地域いきいき健康マップ

唐崎地区

produced by 大津市スポーツ推進委員協議会



1 近江神宮



天智天皇が近江大津宮を営み、都を飛鳥から大津に移した由緒に因み、1940年同天皇を祭神として創祀されました。百人一首かるた、流鏝馬でも知られ、境内には時計館宝物館があり、世界の時計2300点が収蔵されています。

2 福王子神社



祭神は紀貫之。延長8年に土佐の守となり赴任し、任期を終え帰京の途上で有名な「土佐日記」を紀行する。比叡山の裳立山で没した後、地形的に近かったことから村人が歌神として尊崇し、同地に祀られました。境内には古墳時代後期の群集墳があります。

3 大伴黒主神社

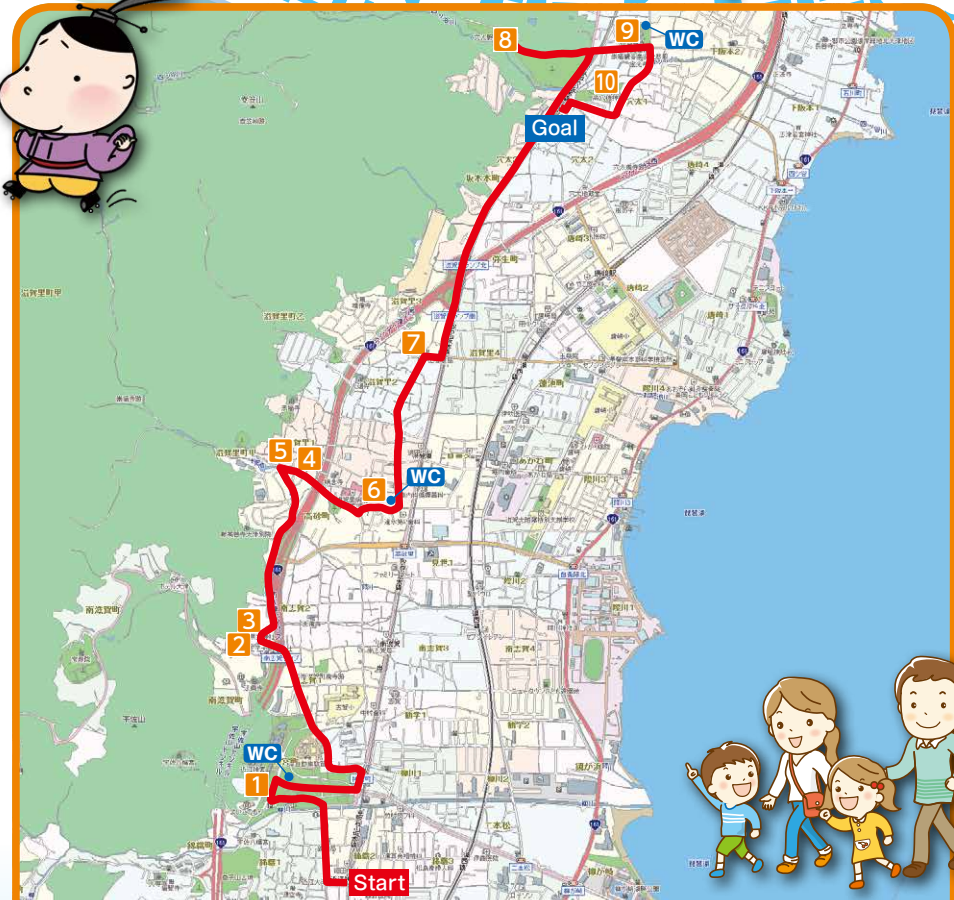


大伴黒主は、平安初期の代表的な歌人で、六歌仙の一人として知られています。滋賀郡司を務めたことがあり、三井寺の神祠別当職を務め、志賀山中で幽栖されました。没後、土地の人が小祠を建てて祀ったのが始まりと言われています。

4 百穴古墳群



古墳時代後期に作られた古墳が多く集まっています。石室の天井がドーム上で、祭祀用のミニチュアの炊飯具などが納められているなど、全国でも珍しい特徴で、ほとんどが坂本から錦織にかけての地域のみに見られます。



Start: 京阪近江神宮前駅 Goal: 京阪穴太駅

距離: 約8km 消費カロリー: 330kcal/50kg・430kcal/65kg



5 志賀の大仏



京都と大津を結ぶ山中越の旧道にあり、花崗岩に掘られた高さ3.5mの阿弥陀如来坐像。鎌倉時代の作で、山中越を利用した旅人が道中の安全を祈願したといわれます。ちなみに、地元の人々には「だいぶつ」ではなく「おとほけ」と呼ばれています。市指定文化財です。

6 志賀八幡神社



祭神は應神天皇。天武天皇の白鳳9年の創建と伝えられているが、織田信長の比叡山焼き討ちなど、中古の戦乱による戦火で社殿や文書等が焼失したため、詳細は不明です。毎年9月15日には祭礼が行われます。



9 盛安寺



境内の東と南を穴太衆積み石垣に包まれています。信長の比叡山焼き討ちに遭うが、その後、坂本城主になった明智光秀により整備されました。道を挟んだ南側の観音堂には十一面観音菩薩立像が安置されています。

7 倭神社



祭神は天智天皇の皇后である倭姫。江戸時代の資料には「赤塚大明神」として再興されました。「赤塚古墳」とも呼ばれています。社殿を改築する際、古墳の内部が露呈し朱塗りの石室が発見されたが、そのまま埋め戻されて以来発掘されていません。

8 穴太野添古墳群



野添古墳群は、坂本から錦織にかけて連なる比叡山の東の山麓に形成された古墳時代後期の群集墳のひとつです。6世紀半ばから7世紀初めに築造された180基以上の古墳で構成されており、墳丘や開口、露出した石室を見ることができます。

10 高穴穂神社



古事記・日本書紀には、景行、成務、仲哀天皇の三代にわたる宮郡「高穴穂宮」があったとされ、この地がその跡地と伝えられています。境内にある「高穴穂宮址」の碑は東郷平八郎の書です。裏の樹林は大津市の保護樹林となっています。